

外装工事のペンキ塗りは前回の作業でほぼ完了しています。校舎の柱の何箇所かはペンキを塗りを終えていないところがあります。

内装工事を進めているため、内装作業の合間を縫って色付けをしています。外装塗装の進行は少しずつ行っていますが、9割以上の塗装は終了しています。



←内装のタイル張り作業の様子

写真内のテカテカして水分を含んだ土がセメントです。他のセメントと比べて、色が地面の色に近いのはタイルを固定し、簡単にひび割れなどが起こらないようにするため、土の含有量を多くしているからです。子どもたちが力を込めて踏み込んでも、決してタイルがずれることはありません。

屋根の点検を行なう職人→

屋根の設置作業が終了しても定期的に接着の度合いを確認しなくてはなりません。カンボジアの強力なスコールに耐えるためには、かわら同士が隙間なく重なっていることが必要となります。職人たちは屋根に上がり、確認作業を行います。





プチョンバン(カンボジアのお盆)が終わり、沢山の学生たちが施設に戻ってきています。校舎完成間近になっているので、子どもたちは沢山勉強して、他の子どもたちに負けないように頑張らなくてはと思っているようです。



学校の周辺にはこのような道が沢山あります。学校が始まるとこれから子どもたちはこの風景を見ながら学校に登校します。自然も沢山あるので、子どもたちにとって素晴らしい通学路となることでしょう。



授業が終わった後、子どもたちは勉強の疲れを感じさせず遊んでいました。後ろに広がる川でこれから水遊びをするんだといっています。勉強終わりの水遊びは格別に気持ち良いんだよといっています。



通学路の途中では、仕事終わりの大人たちが子どもたちを見守っていました。これからこの道も賑やかになるんだなあとポツリポツリと呟いていました。

どうもありがとうございます。